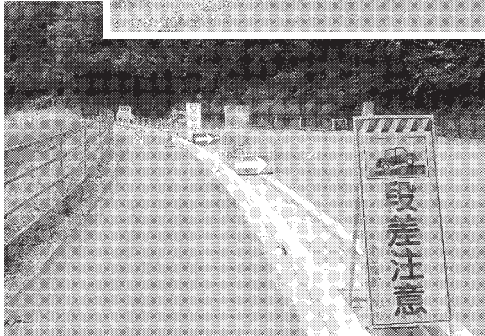


た。その後歳出抑制により繰入を600万円に圧縮できたもので、最終専決補正としたものである。

上下水道課長 場所は黒川中部、当初工期は2月であったが、岩盤等の土工事における支障、ルート変更等により1カ月半程の遅れが生じ、検査終了が3月末となった。その結果受益者負担金が、予定の103件に対し32件となり、1千530万円の減額となった。上垣外(勇)議員 町財政が



拡幅される国道361号

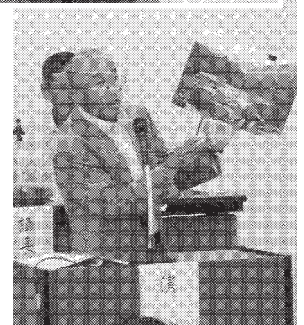
公債費比率21%と厳しいと言いつつも、職員全体がそうした認識を持っているのか、はなはだ疑問に感じる。専決ではなく正規の議案として議会に提案、議論すべきはし、その反省に立つて次回予算編成に生かしていく姿勢が必要と思うがどうか。町長 国道361号線拡幅工事の影響もあり、こうした結果となった。言われることはもつともであり、お許しいただきたい。

郡町村議会議員総会を開催

平成19年度の木曾郡町村議会議員総会は、8月1日に木曾町日義の木曾文化公園内で開催された。開会あいさつに続き、自治功労者表彰があつた。

引き続き議事に入り、各提出議案の審議をおこなつた。当町からは、榎本議員が「木曾川水系の河川管理

とダム及び河床整備の促進について」の提出理由と意見を述べ、古畑一夫議員が「木曾地区主要幹線道路の整備促進について」の賛成討論をおこなつた。今年度の決議事項は以下のとおり。



議員総会のようす



- 一、木曾川水系の河川管理とダム及び河床整備の促進について
 - 二、松枯れ北上防止対策事業の創設について
 - 三、信州まつもと空港の活性化を求めることについて
 - 四、県立木曾病院の医師等医療技術者の確保について
 - 五、鳥獣による被害対策の推進について
 - 六、木曾地区主要幹線道路の整備促進について
- 総会終了後、研修会が開かれ、作家のC・W・ニコル氏を講師に迎えて、「森から未来をみる」と題する環境特別講演がおこなわれた。